

情報工学系学修課程

人材養成の目的

現代社会に必要な不可欠な情報基盤・情報システム・情報サービスを支える理論・技術をハードウェア・ソフトウェアの面から理解し、新たな技術を創成する能力を備えるとともに、専門知識に裏付けられた指導力を発揮することで、産業、学術、政策等の分野における複雑な課題に対する的確に対応し、国際的に活躍できる人材を養成する。卒業後の進路は、学修一貫教育により修士課程への進学を基本とする。

学修目標

次のような能力を修得することを目指す。

- ・ 情報基盤・情報システム・情報サービスを支える技術開発・研究に必要な基礎学力と論理的思考能力
- ・ ハードウェア・ソフトウェア・人工知能の基盤知識
- ・ 他人の意見を尊重しつつ、自分の意見を論理的に表現できるコミュニケーション力と高い倫理観
- ・ 現実の問題の本質的な構造をとらえ、それをモデリングする能力
- ・ 人工知能の技術を社会のさまざまな課題に応用する能力
- ・ 離散系の基盤知識と連続系の基盤知識を融合して、広い技術分野に対しハイブリッドなアプローチが可能な能力

学修内容

A) 情報工学分野の専門基礎学修

情報工学基礎科目の学修

B) 情報工学の応用学修

情報工学発展科目および実習を含むプログラミング科目による理論の実践を学ぶ学修

C) 広い視野を養い、主体的に進める学修

研究プロジェクト、学士特定課題研究などに加え、助言教員との対面修学指導、研究室公開などを通じて主体的に取り組む力をつける学修

D) 社会との関わりを迫体験する学修

社会で活躍する講師陣らによる、専門科目を通しておこなう迫体験学習や技術者倫理の学修

E) コミュニケーション能力の強化学修

学士特定課題研究の論文作成に要求される論理的に文書を組み立て、明解に記述する能力、ゼミやプレゼンテーション科目を通じた発表力の養成学修

授業科目

◎印は必修科目、○印は選択必修科目である。

身に付ける力は以下の通り。

1. 国際的教養力
2. コミュニケーション力
3. 専門力
4. 課題設定力
5. 実践力又は解決力

付表

科目区分	番台	科目コード	科目名	単位	身に付 ける力	学修 内容	備考
専門科目 (200 番台)	200	CSC. T241. A	○ 計算基礎論	2-1-0	3	A	A 群
	200	CSC. T242. A	○ 確率論・統計学	2-0-0	3	A	A 群
	200	CSC. T243. C	○ 手続き型プログラミング基礎	2-1-0	3, 5	A, B	C 群
	200	CSC. T251. A	○ オートマトンと形式言語	2-1-0	3	A, B	A 群
	200	CSC. T252. A	○ 論理回路理論	2-0-0	3	A	A 群
	200	CSC. T253. C	○ 手続き型プログラミング発展	2-1-0	3, 5	A, B	C 群
	200	CSC. T261. A	○ 情報論理	2-1-0	3, 4, 5	A, B	A 群
	200	CSC. T262. A	○ アセンブリ言語	2-0-0	3, 5	A	A 群
	200	CSC. T263. C	○ 関数型プログラミング基礎	1-1-0	3, 5	A, B	C 群
	200	CSC. T271. A	○ データ構造とアルゴリズム	2-1-0	3, 5	A, B	A 群
	200	CSC. T272. B	○ 人工知能	2-0-0	3	A	B 群
	200	CSC. T273. C	○ オブジェクト指向プログラミング	1-1-0	3, 5	A, B	C 群
専門科目 (300 番台)	300	CSC. T341. A	○ コンピュータ論理設計	2-1-0	3, 5	A, B	A 群
	300	CSC. T342. B	○ 問題解決と意思決定	2-0-0	3	A	B 群
	300	CSC. T343. B	○ データベース	2-0-0	3, 5	A	B 群
	300	CSC. T344. B	○ システムプログラミング	1-1-0	3, 5	A, B	B 群
	300	CSC. T345. B	○ コンピュータネットワーク	2-0-0	3	A	B 群
	300	CSC. T351. B	○ システム解析	2-0-0	3	A	B 群
	300	CSC. T352. B	○ パターン認識	2-0-0	3	A	B 群
	300	CSC. T353. B	○ 生命情報解析	2-0-0	3, 4	A	B 群
	300	CSC. T354. B	○ 並列プログラミング	1-1-0	3, 5	A, B	B 群
	300	CSC. T361. B	○ オブジェクト指向設計	2-0-0	3	A	B 群
	300	CSC. T362. B	○ 数値計算法	2-0-0	3	A	B 群
	300	CSC. T363. B	○ コンピュータアーキテクチャ	2-1-0	3	A	B 群
	300	CSC. T364. C	○ システム設計演習	0-2-0	3, 4, 5	A, B	C 群
	300	CSC. T371. A	○ システムソフトウェア	2-0-0	3	A	A 群
	300	CSC. T372. B	○ コンパイラ構成	1-1-0	3	A	B 群
	300	CSC. T373. B	○ 動的システム	2-0-0	3, 5	A, B	B 群
	300	CSC. T374. B	○ システム制御	2-0-0	3	A	B 群
	300	CSC. T375. C	○ システム構築演習	0-2-0	3, 5	A, B	C 群
	300	CSC. T376. L	先端情報工学	2-0-0	3	D	
	300	CSC. T377. L	情報工学英語プレゼンテーション	2-0-0	1, 2	E	
	300	CSC. T378. C	○ チーム開発集中演習基礎	0-2-0			C 群
研究関連 科目 (300 番台)	300	CSC. Z381. R	◎ 研究プロジェクト (情報工学系)	0-0-2	3, 4, 5	C	
	300	CSC. Z389. R	◎ 学士特定課題研究 (情報工学系)	0-0-6	3, 4, 5	C, E	
	300	CSC. Z390. L	学士特定演習 (情報工学系)	0-0-2	3, 4, 5	C, E	
	300	CSC. Z391. L	学士特定課題プロジェクト 1c (情報工学系)	0-0-1	3, 4, 5	C, E	
	300	CSC. Z392. L	学士特定課題プロジェクト 2c (情報工学系)	0-0-2	3, 4, 5	C, E	
	300	CSC. Z393. L	学士特定課題プロジェクト 3c (情報工学系)	0-0-3	3, 4, 5	C, E	
	300	CSC. Z394. L	学士特定課題プロジェクト 4c (情報工学系)	0-0-4	3, 4, 5	C, E	
	300	CSC. Z395. L	学士特定課題プロジェクト 5c (情報工学系)	0-0-5	3, 4, 5	C, E	
	300	CSC. Z396. L	学士特定課題プロジェクト 6c (情報工学系)	0-0-6	3, 4, 5	C, E	

科目体系図

情報工学系のカリキュラム体系										
1年目	2①	2②	2③	2④	3①	3②	3③	3④	4①～4②	4③～4④
学院専門科目	情報工学基礎	計算基礎論	オートマトンと形式言語	情報論理	データ構造とアルゴリズム		システムソフトウェア		学士特定演習	学士特定課題研究
情報リテラン第一・第二		確率論・統計学	論理回路理論	アセンブリ言語		コンピュータ論理設計				
コンピュータサイエンス第一・第二	情報工学発展			人工知能	数値計算法	システム解析	動的システム	システム制御	学士特定課題研究	学士特定課題プロジェクト
					データベース	パターン認識		問題解決と意思決定		
						生命情報解析	コンピュータアーキテクチャ			
					コンピュータネットワーク	コンパイラ構成				
					システムプログラミング	並列プログラミング	オブジェクト指向設計			
プログラミング	手続き型プログラミング基礎	手続き型プログラミング発展	関数型プログラミング基礎	オブジェクト指向プログラミング			システム設計演習	システム構築演習		
					研究プロジェクト(情報工学系)	チーム開発集中演習基礎	研究プロジェクト(情報工学系)		情報工学英語プレゼンテーション	

標準的履修例

													200番台科目	300番台科目	太字・斜体は必修科目
年		2年目				3年目				4年目				単位数	
科目区分		第1Q	第2Q	第3Q	第4Q	第1Q	第2Q	第3Q	第4Q	第1Q	第2Q	第3Q	第4Q		
専門科目群	系A群	計算基礎論	オートマトンと形式言語	情報論理	データ構造とアルゴリズム	コンピュータ論理設計		システムソフトウェア						23	
		確率論・統計学	論理回路理論	アセンブリ言語											
	B群				人工知能	データベース		オブジェクト指向設計	コンパイラ構成					14	
						システムプログラミング		数値計算法							
						コンピュータネットワーク									
	C群	手続き型プログラミング基礎	手続き型プログラミング発展	関数型プログラミング基礎	オブジェクト指向プログラミング			システム設計演習	システム構築演習					14	
研究関連科目								研究プロジェクト		情報工学英語プレゼンテーション				2	
										学士特定演習		学士特定課題研究		10	
単位数		16	14	9	14	4	6	63							
		30	23	10											

学士特定課題研究申請要件

学士特定課題研究を申請するためには、次の要件を満たさなければならない。

- (1) 情報リテラシ第一・第二，コンピュータサイエンス第一・第二から2単位以上を修得していること。
- (2) 付表中の科目のA群から10単位以上を修得していること。
- (3) 付表中の科目のB群から10単位以上を修得していること。
- (4) 付表中の科目のC群から10単位以上を修得していること。
- (5) 研究プロジェクト(2単位)を修得していること。
- (6) 上記を含め、付表中の科目から39単位以上を修得していること。
- (7) 全学の規定である必要単位数110単位以上を修得していること。

卒業要件

本課程を卒業し、学士（工学）の学位を修得するためには、次の要件を満たさなければならない。

- (1) 付表中の科目のA群から10単位以上を修得していること。
- (2) 付表中の科目のB群から10単位以上を修得していること。
- (3) 付表中の科目のC群から10単位以上を修得していること。
- (4) 研究プロジェクト(2単位)を修得していること。
- (5) 学士特定課題研究(6単位)を修得していること。
- (6) 上記を含め、付表中の科目から45単位以上を修得していること。
- (7) 全学の規定である必要単位数124単位以上を修得していること。

学修一貫（学士課程・修士課程一貫）の教育体系

情報工学系の教育体系は、学修一貫教育の考え方にに基づき、修士課程においては情報工学コースあるいは知能情報コースの教育体系に自然につながるように設計されています。コンピュータシステムのハードウェア・ソフトウェアについてのより深い知識を身につけたい人は情報工学コースを、コンピュータシステムを実社会のさまざまな問題に適用し、より知的で高度なシステムやサービスを構築するための知識を身につけたい人は知能情報コースを選択するよいでしょう。なお、どちらのコースに進んでも必要に応じて他コース開講科目を受講することができます。学士課程の科目と特に関連の深い大学院科目については、たとえば、学士課程科目「人工知能」に対する大学院科目「先端人工知能」のように大学院科目名の先頭に「先端」を追加することにより科目間の関係がわかりやすい科目命名法を採用しています。